



Sekison 通信

教育目標◆◆未来をひらく 石川の子◆◆

R5・7・18

NO. 9

文責：校長 酒井



◆◆ 祝 4年ぶりのPTA学年行事 ◆◆

春から、少しずつ本来の姿を取り戻してきた本校の教育活動ですが、ありがたいことにPTA活動も以前の活動に戻りつつあります。先日は、学年行事の先陣を切って1年生の保護者様が中心となり「ミニ花火大会」を準備してくださいました。

驚きました。最後のナイアガラもそうですが、皆さんとっても協力的で、チームワークも抜群でした。

週明けに学年主任の吉田先生が、とても嬉しそうに報告してくれました。役員さんの中にはわざわざ浴衣を準備して、雰囲気演出してくださったかたもいたとのこと。当日の写真をみると、なるほどこれは大がかり、そしてみんなとても楽しそう。廊下にいた男の子にも早速インタビュー。

花火たのしかった～、さいごがめちゃくちゃすごかった。カにさされてかゆかったけど。

やや興奮気味に答えてくれました。子どもたちにとっては、楽し過ぎて「あっ」という間の「ミニ花火大会」だったようですが、夏休み前の大切な思い出の1ページとなりました。花火だけでなく、保護者の皆様の準備する姿や協力する姿も必ず子ども達の目に映っていたはず。企画、準備、運営そして後片付けまで大変お世話になりました。

翌日は2年生の学年行事（ミニ花火大会）も盛大に開かれましたこと、あわせて御礼申し上げます。また、夏休みには6年生の「お化け屋敷大会!？」も予定されています。



第1回家庭教育学級（心肺蘇生講習会）

石川消防署の皆様（4名）を講師に、心肺蘇生の講習会を実施しました。当日は多くの保護者の皆様だけでなく、子ども達も複数参加し、和やかな雰囲気の中講習会は進みました。しかし、そこはなんといっても命を守る講習会ですので、心肺蘇生体験の場面では参加者全員が真剣そのものでした。心臓マッサージ、AEDの操作等について詳しく教えていただく中で、質問もたくさん飛び出し、充実した講習会となりました。「備えあれば、憂いなし」とはいいですが、この日の講習内容を実践することのない、安全な夏休みとなることを心より願います。



堂々の準優勝！（交通安全子ども自転車県大会）

7月1日（土）福島市吾妻総合体育館において、実に4年ぶりに開催された、子ども自転車大会で、本校の自転車部が準優勝に輝きました。コロナ前には県内無敵を誇ってきた自転車部ですが、ここ数年は度重なる大会の中止もあって、部員が急激に減少し技術の継承が危ぶまれました。しかし、そこは伝統校、部員の少なさは練習の質と一人一人のやる気で補ってきました。当日は、惜しくも優勝旗を手にすることはできませんでしたが、堂々の準優勝。競技後、涙を流す児童の姿もあり、練習通りとはいかなかったことを反省する場面もありましたが、県2位は立派です。大会が中止となった3年間を乗り越えよくぞここまでたどり着いた13名の選手、特に6年生の努力を心から讃えたいと思います。保護者の皆様にも大変お世話になりました。また、当日は、石川警察署長、安全協会会長様も会場に駆けつけてくださいました。

手前味噌ですが、休みを返上して指導に当たってきた自慢の先生方にも拍手を送ります。

※ 活動の様子はHPで紹介しています。

※ 裏面に続く

7月全校集会（校長の話）

時：令和5年7月11日（火）

於：クリスタルホール

☆2・4・6年生はクリスタルホールに集合

☆1・3・5年生は教室でライブ配信

～校長の話の前に、自転車部・陸上部・環境委員会（ベルマーク）の表彰～

まずは、表彰を受けた自転車部、陸上部の皆さん、そして環境委員の皆さんおめでとうございます。先生はこれまで、「結果だけが大切ではありません、それまで努力してきたこと、繰り返して続けてきたことが一番大切」と、言ってきましたが、こうやって努力したことが結果に繋がると嬉しいですね。良かったですね。

さて、1学期もあとわずかとなりました。もうすぐ夏休みがやってきます。夏休みの計画は立ちましたか？まだこれからかな？

今年は、感染症の影響も少なくなり、公共の施設でもマスクを外してもよいことになりました。

みなさんの中にもすでに、家族でどこかに行くとか、育成会でキャンプをするとか、スポーツ少年団で・・・と、いろいろ楽しみにしている人も多いことと思います。夏休みが待ち遠しいですね。

実は先生もこの夏楽しいことが待っています。それはね、久々にクラス会があることです。クラス会って言うのはね、大人になってから昔の同級生たちが集まって懐かしい話をしたり、お酒を飲んだりすることです。でも、先生は同級生たちと集まるものではありません。それは、先生の教えた子ども達のクラス会です。今から30年前に担任した子どもですから、子どもといっても、もう40才を過ぎています。その子どもたちからクラス会に招待されました。

感染症の影響で、ずっと会えなかった子ども達と会えることは、もちろんとても嬉しいのですが、もう一つ嬉しいことがあります。それは、クラス会を開くために教え子同士がやりとりしたメールです。ちょっと紹介します。（グループラインのコピーを提示）

- しほちゃん久しぶり、かっちゃんにもあいいたいな。
- こうちゃんが、次集まろうと思ったときは病んでるかもしれないぞって言ってたから、できるだけ参加します。
- はい、じゅんくんまってきました。
- けんちゃん何かから何までありがとうございます。

何か気がつきましたか？

40才を過ぎた大人たちが、お互いをちゃんやくんづけで呼び合っているのです。おかしいね。でも、だれも呼びつけにしたり馬鹿にした言い方をしたりしません。先生はそのやりとりを見ながら心がとてもほっこりしてきました。

実は、この前ここで5・6年生に言葉（言霊）についてお話をしました。

あれから、約1か月がたちますが、このところ、丁寧な言葉遣いを心がけるお友達がとっても増えてきました。相手がいやがる言葉でなく、相手がほっこりする言葉を意識してつかう友達が多くなってきているように感じます。上級生が下級生に優しく接している姿もたくさん見かけました。

全校生が、そんな優しい気持ちになって夏休みを迎えられることを、とても嬉しく思います。きっと楽しい夏休みになりますね。

6年生も、あと十年もたつとおそらくクラス会を開くでしょう。どんなクラス会になるのか、どんな大人になるのか、まだ想像もできませんが、そんなに遠い話ではありませんね。

お話を終わります。